

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？
12月に入りましたね。いろいろ慌ただしい年でした。休日に行く施工が多くて、なかなかペースがつかめずに1年間が過ぎたと

いう実感がします。

12月は、大掃除の一環で、石材のメンテナンスを行うお客様が多く年末まで取り掛かりそうな気配です。またまた、自宅の大掃除は年越しになりそうな堀内貢次です。

皆さまは、余裕を持って新しい年をお迎え下さい。それでは、今月も会報誌をお読みいただきありがとうございます。

「娘 (もえぎ) の演劇4 大学対抗の見学」

先月の日曜日に娘の大学の演劇を観劇して来ました。5大学対抗の演劇大会で、120分の時間内に舞台の設置→演技→舞台の撤去を行い、最終審査をするというものです。土曜日と、日曜日の二日間で競技をし、総合の評価で順位が決まらしく、学生は舞台の設置から、声を出して駆け回り、115

分台のタイムが出ると、泣く学生までいました。まるで体育会系的感じ。肝心の劇の方は、娘はライト役なので内容はそっちのけで、光の行方を追っていました。親バカですね。



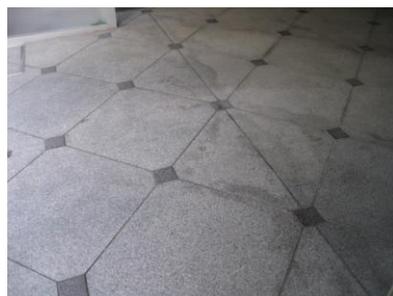
「御影石の吸上げ濡れ色現象」

今月の石材メンテナンスは、築20年以上の御影石に発生した、吸上げによる濡れ色現象の対処について記述します。

外構に貼ってある御影石で、一部は底が出ていて雨は比較的に入りにくい形状なのですが、石が対角線上にカットしてある部分から左側は傾斜があり、右は平な状態です。底があっても強風時には、雨は吹き込むので、平な部分の水分が、溜まりやすく石の裏面まで水分が回ってしまい、更に経年劣化で目地の割れもあり一層、裏面に水が回りやすくなっています。

対処としては、まずは、全体洗浄をして、石の目の中の汚れを取ります。これだけでも石は乾燥しやすくなりますが、根本的な施工を行うために、シミのあった部分にシミ抜き剤を塗布して、モルタル水のアク抜きをし、更にパーナー等で

強制乾燥をして、浸透性の吸収防止剤を塗布し、更に強制乾燥をして、1枚1枚仕上げていきます。



1. 御影石の濡れ色現象



2. まずは、洗浄します



シミ抜き剤塗布



施工後

「大理石からエフロ発生」

この現場は、以前にも入ったことがありまして、雨漏りが原因で水浸しになり、クレママーフィル(大理石)からエフロまで発生しています。ここまで、ひどいと研磨施工をしてツヤを復元し、最後に浸透性吸収防止剤コートを塗布して完了しました。しばらくは経過の様子見です。



(編集後記) 先月、仙台の現場に行きましたが、ホテルが全く取れなくて苦労しました。ホテル側も強気で、連泊プランばかりで、日程が合わなくて大変で、11月は仙台市内に泊まれず、南隣町の名取市になってしまいました。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp